

選挙公告

一般社団法人日本生物物理学会定款および細則に基づき A.2023・24 年度会長候補意向聴取選挙, B. 2023・24 年度代議員選挙を行います. 下記の「選挙要項」をご精読の上, 期日までにご投票ください.

記

2023・24 年度会長候補意向聴取選挙および 2023・24 年度代議員選挙
投票期間:2022 年 5 月 18 日(水)~6 月 10 日(金)正午(日本時間)

選挙要項

- (1) 本選挙は, WEB 上に特設された選挙システムを利用して投票する.
- (2) 本選挙の選挙権者は, 本年 5 月 1 日現在における本学会正会員で学会会費を完納しているものとする(細則第十二条).
- (3) 学会会員ページ上の特設 WEB サイトに表示された被選挙者の中から, 適当と思われる候補者を選出し, 投票する. ただし, 一度投票した内容を変更することはできない.
- (4) 投票期間外での投票は無効とする.
- (5) 開票は, 公開により 6 月 10 日(金)午後 2 時より学会事務局において行う. 投票内容に不備がある場合を除き, 開票の際投票者個人が特定されることはない.

A. 2023・24 年度 会長候補意向聴取選挙要項

会長候補意向聴取選挙の手順について, 細則第十三条に定められています.

第十三条 会長候補者は, 代議員から推薦された候補者の中から理事会の決議によって 3 名選出される.

- 2 選挙管理委員会は, 各候補者の略歴や本会との関わりについて正会員に周知し, 意向聴取選挙を行なうことができる.
- 3 臨時社員総会にて, 得票数の一番多い会長候補者を理事候補として代議員が選出する.

本年 2 月 24 日から 3 月 10 日までの期間で代議員による会長候補者推薦を実施し, 推薦された候補者について, 3 月 26 日の理事会で審議・投票を行い, 3 名の候補者を選出しました. 会長候補としてふさわしいと思われる候補者に投票してください.

(A1) 会長候補者(50 音順)

高橋 聡(東北大学多元物質科学研究所)

永井 健治(大阪大学産業科学研究所)

由良 敬(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)

(A2) 本選挙は選挙要項に従って行なう.

(A3) 上記 3 名の会長候補者の中から会長として適当と思われる候補者を 1 名選び, 学会会員ページ上の特設 WEB サイトから投票する.

- (A4) 開票の結果により、最高得票者を会長候補とする。最高得票者が2名以上である場合は、その者について改めて選挙を行う。
- (A5) この選挙により選出された会長候補は、2022年9月に開催される臨時社員総会で理事候補として付議される。
- (A6) 会長候補者略歴(50音順)

2023・24 会長候補 略歴

1. 高橋 聡

現 職:東北大学多元物質科学研究所 教授

生年月日:1964年12月17日

学 歴:1987年 東北大学理学部化学科卒業

1989年 東北大学大学院理学研究科化学専攻 修士課程修了

1992年 総合研究大学院大学機能分子科学専攻(分子研)博士課程修了博士(理学)

職 歴:1992年 日本学術振興会特別研究員(分子研)

1993年 AT&T ベル研究所(マレーヒル) 博士研究員

1995年 理化学研究所(和光) 基礎科学特別研究員

1996年 京都大学大学院工学研究科分子工学専攻 助手

2003年 大阪大学蛋白質研究所 助教授

2009年 東北大学多元物質科学研究所 教授

専門分野:一分子蛍光分光法,振動分光法,速度論的方法などを用いて,タンパク質のフォールディングをはじめとする分子ダイナミクスを調べています。

生物物理学会とのかかわり:

留学時に一時退会しましたが,学生時代からの会員です。これまでに理事会メンバーを複数回,中村会長の時(2015-16)の副会長,「生物物理」誌の編集委員長(2020-21),昨年の年会実行委員長などを務めました。私にとって本学会は,才能と志を持つ多くの仲間と集うことができるとても大切な場です。

2. 永井 健治

現 職:大阪大学産業科学研究所 教授

生年月日:1968年9月29日

学 歴:1992年 筑波大学第二学群生物学類基礎生物学専攻卒業

1994年 筑波大学農学研究科応用生物化学専攻 修士課程修了

1998年 東京大学医学系研究科脳神経医学専攻 博士課程修了 博士(医学)

職 歴:1995年 日本学術振興会 特別研究員(DC1)

1998年 理化学研究所 基礎科学特別研究員

2001年 理化学研究所 脳科学総合研究センター 研究員

2001年 科学技術事業団さきがけ研究21「生体分子の形と機能」研究員

2005 年 北海道大学電子科学研究所 教授

2012 年 大阪大学産業科学研究所 教授(現在に至る)

専門分野:蛍光タンパク質や生物発光タンパク質,それらに基づく各種指示薬の開発がメインです.これらのツールを活かし,自身の研究室の枠を超えて多くの研究者と共に少数性生物学やシンギュラリティ生物学という新しい視点から生命現象を捉える研究を行っています.

生物物理学会とのかかわり:博士取得後に会員になり,運営委員(2012-2013)や理事(2014-2016, 2021-2022),副会長(2015-2016),欧文誌編集員(2013-2019),第57回(宮崎)年年会会長,IUPAB 招致 WG(2012-2018),国際関係委員会委員(2019~)として学会運営に携わって参りました.

3. 由良 敬

現 職:お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授

早稲田大学 先進理工学部 生命医科学科 教授(任期付)

生年月日:1966 年 2 月 10 日

学 歴:1988 年 早稲田大学理工学部応用物理学科卒

1990 年 早稲田大学大学院理工学研究科物理学及び応用物理学専攻 修士課程修了

1993 年 名古屋大学大学院理学研究科生物学専攻 博士課程修了

1999 年 博士(理学)

職 歴:1992 年 名古屋大学大学院理学研究科 学術振興会特別研究員

1993 年 名古屋大学理学部生物学学科 助手

1996 年 名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻 助手

2002 年 日本原子力研究所計算科学推進センター 研究員

2005 年 日本原子力研究開発機構システム計算科学センター 研究副主幹

2008 年 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 教授(現在に至る)

2013 年 遺伝学研究所特任 教授(2017 年 3 月まで)

2017 年 早稲田大学先進理工学部生命医科学科 教授(クロスアポイントメント)

専門分野:計算生物学,特にコオロギゲノム解析と進化に関わるバイオインフォマティクス.

生物物理学会とのかかわり:

学部4年生の時から会員.運営委員を3期と副会長1期を務め,現在はABA担当.2020年度群馬年会では,大澤先生の補佐を務めた.計算生物学を次世代に広めていくことを本務とこころえ,お茶の水女子大学で日々学生10名以上を直接指導し,1週間に7コマ程度の講義を担当するかたわら,早稲田大学における生命科学データサイエンスの新展開をめざし,生命情報学の社会展開のために,AMEDのプロジェクトと昆虫食プロジェクトに関与している.

B. 2023・24 年度 代議員選挙要項

代議員は、正会員 3 名以上からの推薦、支部・若手の会からの推薦、分野別専門委員からの推薦、立候補により選出された候補者の中から正会員の投票によって決定いたします。

本年 4 月 6 日から 5 月 9 日までの期間で実施した代議員候補者推薦の結果、推薦された方は 581 名、その内候補者となった方は 183 名でした。以下の代議員候補者の中から、適当と思われる候補者（10 名以内）に投票してください。

(B1) 代議員候補者 (50 音順)

相沢 智康(北大)	青木 一洋(ExCELLS)	秋山 修志(分子研)
秋山 良(九州大)	安達 泰治(京大)	安藤 敏夫(金沢大)
池口 雅道(創価大)	石北 央(東大)	石島 秋彦(阪大)
石渡 信一(早稲田大)	市橋 伯一(東大)	市村 垂生(阪大)
伊藤 悦朗(早稲田大)	井上 圭一(東大)	井上 豪(阪大)
今田 勝巳(阪大)	今村 博臣(京大)	今元 泰(京大)
岩崎 憲治(筑波大)	岩楯 好昭(山口大)	上田 太郎(早稲田大)
上田 泰己(理研)	上村 想太郎(東大)	内田 毅(北大)
内橋 貴之(名大)	海野 昌喜(茨城大)	海野 雅司(佐賀大)
遠藤 斗志也(京産大)	大上 雅史(東工大)	大澤 匡範(慶應大)
太田 元規(名大)	太田 善浩(東京農工大)	大浪 修一(理研)
岡崎 圭一(分子研)	岡嶋 孝治(北大)	奥村 久士(ExCELLS)
片山 耕大(名工大)	加藤 晃一(ExCELLS)	加藤 貴之(阪大)
加藤 英明(東大)	加藤 博章(京大)	鎌形 清人(東北大)
上久保 裕生(奈良先端大)	上村 慎治(中央大)	亀田 倫史(産総研)
川鍋 陽(香川大)	河野 敬一(千歳科学技術大)	川村 出(横浜国立大)
神取 秀樹(名工大)	木賀 大介(早稲田大)	木川 隆則(理研)
菊川 峰志(北大)	北原 亮(立命館大)	北村 朗(北大)
木下 賢吾(東北大)	木村 暁(遺伝研)	金城 政孝(北大)
金原 数(東工大)	久保 稔(兵庫県立大)	栗栖 源嗣(阪大)
胡桃坂 仁志(東大)	河野 秀俊(QST)	古賀 信康(ExCELLS)
小島 慧一(岡山大)	小嶋 誠司(名大)	児嶋 長次郎(横浜国立大)
小林 徹也(東大)	小松崎 良将(日大)	斉尾 智英(徳島大)
佐藤 佑介(九工大)	澤井 哲(東大)	重田 育照(筑波大)
篠原 康雄(徳島大)	柴田 幹大(金沢大)	嶋田 一夫(理研)
清水 伸隆(高エネ研)	城 宜嗣(兵庫県立大)	城口 克之(理研)
末次 志郎(奈良先端大)	杉田 有治(理研)	杉本 宏(理研)
鈴木 健一(岐阜大)	鈴木 宏明(中央大)	鈴木 団(阪大)

須藤 雄気(岡山大)	寿野 良二(関西医科大)	角野 歩(金沢大)
曾我部 正博(金沢工業大)	園山 正史(群馬大)	曾和 義幸(法政大)
高田 彰二(京大)	高野 光則(早稲田大)	鷹野 優(広島市大)
高橋 聡(東北大)	瀧口 金吾(名大)	瀧ノ上 正浩(東工大)
田口 英樹(東工大)	竹内 恒(東大)	楯 真一(広島大)
田中 良和(東北大)	田中 伊知朗(茨城大)	田中 好幸(徳島文理大)
谷 知己(産総研)	谷口 雄一(京大)	TAMA Florence(理研)
玉井 伸岳(徳島大)	玉田 太郎(QST)	茶谷 絵理(神戸大)
塚崎 智也(奈良先端大)	塚本 寿夫(神戸大)	角田 聡(名工大)
湊元 幹太(三重大)	寺嶋 正秀(京大)	當舎 武彦(理研)
富樫 祐一(立命館大)	鳥谷部 祥一(東北大)	豊田 太郎(東大)
鳥越 秀峰(東京理科大)	中川 敦史(阪大)	中川 洋(原子力機構)
中迫 雅由(慶應大)	中曾根 祐介(京大)	中根 大介(電気通信大)
永野 真吾(鳥取大)	中村 彰彦(静岡大)	中村 修一(東北大)
成田 哲博(名大)	成瀬 恵治(岡山大)	南後 恵理子(東北大)
難波 啓一(阪大)	西 羽美(東北大)	西坂 崇之(学習院大)
西山 雅祥(近畿大)	丹羽 達也(東工大)	禾 晃和(横浜市大)
野口 巧(名大)	野地 博行(東大)	野村 慎一郎(東北大)
芳賀 永(北大)	林 重彦(京大)	原田 慶恵(阪大)
日比野 佳代(遺伝研)	平島 剛志(京大)	廣明 秀一(名大)
廣島 通夫(理研)	福岡 創(阪大)	藤崎 弘士(日本医科大)
藤原 郁子(長岡技科大)	藤原 慶(慶應大)	古澤 力(理研)
古谷 祐詞(名工大)	細川 千絵(大阪公立大)	堀谷 正樹(佐賀大)
本田 真也(産総研)	本田 直樹(京大)	前島 一博(遺伝研)
前多 裕介(九州大)	前仲 勝実(北大)	真壁 幸樹(山形大)
松浦 友亮(東工大)	松岡 里実(阪大)	松田 知己(阪大)
松永 康佑(埼玉大)	光武 亜代理(明治大)	南野 徹(阪大)
宮田 真人(大阪公立大)	元池 育子(東北大)	森 俊文(九州大)
森垣 憲一(神戸大)	八木 清(理研)	八木 俊樹(県立広島大)
矢木 真穂(ExCELLS)	谷中 冴子(分子研)	山下 敦子(岡山大)
山下 高廣(京大)	山田 大智(兵庫県立大)	倭 剛久(名大)
山本 条太郎(産総研)	由良 敬(お茶大)	横田 浩章(光産業創成大)
若林 憲一(東工大)	若本 祐一(東大)	渡邊 千穂(広島大)

(B2) 本選挙は選挙要項に従って行なう。

(B3) 上記183名の候補者の中から、代議員として適当と思われる候補者(10名以内)を選び、学会会員ページ上の特設WEBサイトから投票する。

- (B4) 開票の結果により、得票順に定数(50名以上55名以内)だけを当選とする。会費滞納者が当選した場合は、学会の請求により直ちに滞納分の支払いがある場合に限りこれを有効とする。
また、最下位が同点の場合は抽選により順位を決定する。
- (B5) この選挙により選出された委員の任期は2023年度より2年間である。
- (B6) 2021・22年度理事は、定款第五条4に基づき、本選挙の投票権を付与されないものとする。

以上

2022年5月18日
一般社団法人日本生物物理学会
選挙管理委員長 小嶋 誠司